

# コミュニケーション英語Ⅱ ENGLISH NOW English Communication II

## 年間指導計画案

### 1. 到達目標

- 英語を聞いたり目的に応じた読み方をすることにより、生徒にとって身近な話題や生徒の教養を高める分野に関する情報を得たり、相手の意見や理由を理解する力をつけさせる。
- 基礎的な英語を使って、話し合ったりまとまりのある文章を書いたりする力をつけさせる。これにより、情報や自分の考えを相手に適切に伝えるコミュニケーション能力を育成することが可能となる。

### 2. 学習計画および評価方法

#### (1) 年間学習計画等

| 学期   | 月  | 学習内容とねらい<br>(配当時数)<br>計 112 時間  | 備考<br>(学習活動の特記事項)   | 考查範囲     |
|------|----|---|---|----------|
| 第1学期 | 4月 | <b>友だちにインタビューしてみよう</b> (3)<br>What sports do you watch? / What sports do you play? /<br>What kind of music do you like? / What kind of TV programs do you watch? / What are your hobbies? / What do you do after you finish classes? / What colors do you like? | ・いろいろな英語表現に触れる活動を通して、英語でのコミュニケーションに慣れ親しむ。                   | 第1学期中間考查 |
|      |    | <b>Lesson 1 “Hello Again.”</b> (5)<br>〈題材〉 純と敦子がスポーツや音楽について話し合う。<br>〈機能・表現〉 自分の意見や理由を述べる表現<br>〈言語材料〉 疑問文 (疑問詞のない疑問文/疑問詞を使った疑問文)   | ・スポーツや音楽など、身の回りのことについて意見を交換する。また、学校生活のことについても意見交換する。        |          |
|      | 5月 | <b>Lesson 2 Eekanji</b> (6)<br>〈題材〉 アルファベットと漢字を組み合わせた書道アート「英漢字」。漢字を通して日本文化について考える。<br>〈機能・表現〉 事物を説明、推論する表現<br>〈言語材料〉 ①SVOO ②位置を表すときの言い方   | ・漢字の表す意味を英語で説明する。また、アルファベットを使って、漢字を表現してみる。外国人の名前を漢字で表現してみる。 |          |
|      |    | <b>Lesson 3 A Dog's Tale</b> (6)<br>〈題材〉 犬に本を読んであげたら…。犬に本の読み聞かせをするアメリカの図書館の取り組みについて知る。<br>〈機能・表現〉 説明や描写の表現<br>〈言語材料〉 ①関係代名詞 ②to 不定詞 (原因・理由)   | ・介助犬の図書館での役割について知る。また、いろいろな場面での介助犬の活躍について意見交換する。            |          |
|      |    | <b>WORD POWER ①</b> (2)<br>語彙力を高めるために、語彙習得のためのストラテジーとコロケーションを理解する。<br>①派生語の理解 (-er, -ist)<br>②動詞 watch, share のコロケーション  | ・派生語の作り方について話し合う。また、基本的な動詞を使ったコロケーションについて考え、発表する。           |          |

|      |    |  |   |          |
|------|----|--|---|----------|
| 第1学期 | 6月 | <b>英語のしくみ ①</b> (2)<br>『不思議の国のアリス』の物語を利用して、文と文をつなぐ接続詞の働きを理解する。   | ・接続詞の働きを理解し、長い文でも情報や内容を正しく理解する。                           | 第1学期期末考査 |
|      |    | <b>Reading 1 Why Did Grandpa Become a Ghost?</b> (7)<br><題材> 亡くなったおじいちゃんがおばけになってエリックのもとに現れる。エリックに伝えたかったことは何か？<br><機能・表現> 心情や気持ちを理解したり、想像する表現<br><言語材料> 復習          | ・登場人物の気持ちが伝わるように、グループで音読する。また、物語の続きや登場人物の心情についてグループで話し合う。 |          |
|      |    | <b>Let's Communicate ① 必要な情報を集めよう</b> (2)<br>沖縄修学旅行の班別自由行動のコースを決定するのに必要な情報を、スキヤニングやスキミングを使って読み取り、情報交換を行う。  | ・英語のパンフレットを用い、情報交換をグループで行う。得た情報をもとに、自分のすることについて発表する。      |          |
| 第1学期 | 7月 | <b>Lesson 4 Wonders of Japan</b> (6)<br><題材> 外国人旅行者が日本に来て驚いたことや感心したことは何かを知る。<br><機能・表現> 説明したり、理由を述べる表現<br><言語材料> ①ask [tell]+～(人)+to 不定詞 ②大きな数                     | ・文化が異なると、当然と思っていることに驚いたり、感心したりすることがある。不思議に思うことについて意見交換する。 | 第1学期期末考査 |
|      |    | <b>【課題・提出物等】</b><br>次のテーマについての「スピーチ原稿」、または「英作文」を提出させる。<br>①自己紹介（自分の好きなスポーツ、音楽や地域などについて）<br>②介助犬の役割について<br>③物語の続き（物語のその後を書く）  |   |          |
|      |    | <b>【第1学期の評価方法】</b><br>定期考査のほかに、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかも評価の観点となる。Readingの課では感想を表現しようとする姿勢も評価する。 |   |          |
| 第2学期 | 9月 | <b>Lesson 5 Personal Space</b> (6)<br><題材> 話す相手との心地よい距離とは？どんなときに近く、どんなときに遠いのか考える。<br><機能・表現> 考えや気持ちを伝える表現/比べる・断定を避ける言い方<br><言語材料> ①比較 ②seemを含む文                    | ・話す相手との距離の取り方が相手との関係や文化によって違うことを知る。心地よい距離についてグループで話し合う。   | 第2学期中間考査 |
|      |    | <b>英語のしくみ ②</b> (2)<br>名詞に説明を追加するために、前置詞で始まる表現を名詞の後に置いて表す。   | ・名詞に前置詞を使った表現が追加された文をグループで考え、発表する。                        |          |

|   |   |  |   |                                      |
|---|---|--|---|--------------------------------------|
| 第<br>2<br>学<br>期  | 10月   | <b>Lesson 6 Rakugo Goes to the U.S.</b> (6)<br><題材> アメリカ人の女子高生ジョイスが日本の伝統芸能の「落語」を見て、おかしかったことや驚いたことは何かを考える。<br><機能・表現> 描写する表現/驚く気持ちを伝える表現<br><言語材料> make+目的語+動詞の原形 | ・落語を通して、外国人が日本文化の面白いと思う点について、グループで話し合う。                             | 第<br>2<br>学<br>期<br>中<br>間<br>考<br>査 |
|   |   | <b>WORD POWER ②</b> (2)<br>語彙力を高めるために、語彙習得のためのストラテジーとコロケーションを理解する。<br>①派生語の理解 (副詞の作り方, 反意語の作り方)<br>②動詞 wear, 形容詞 large のコロケーション                                  | ・派生語の作り方について話し合う。また、基本的な動詞, 形容詞を使ったコロケーションについて考え, 発表する。             |                                      |
|   |   | <b>Let's Communicate ② 乗り換え案内をしよう</b> (2)<br>電車の乗り換え案内に使う慣用表現を学ぶ。行き先を尋ね, 相手の言うことを聞き, 確認する。   | ・インフォメーション・ギャップを使い, お互いに役割交代をして表現に慣れる。                              |                                      |
| 11月   |   | <b>Lesson 7 Robots across the Globe</b> (6)<br><題材> 世界有数の「ロボット大国」日本。なぜ日本ではロボットの人気が高いのか考える。<br><機能・表現> 理由を述べる表現/説明したり, 考えを伝えたりする表現<br><言語材料> 分詞構文                 | ・日本と外国のロボットについて, グラフや写真との関連を考えながら読む。また, 夢のロボットについてグループで意見交換する。      | 第<br>2<br>学<br>期<br>期<br>末<br>考<br>査 |
|   |   | <b>Lesson 8 A Super Pastry Chef</b> (6)<br><題材> パティシエの世界コンクールで優勝した辻口博啓さん。世界一になるまでのさまざまな苦勞と夢を持つことの大切さを知る。<br><機能・表現> 気持ち, 考えや意図を伝える表現<br><言語材料> 仮定法過去             | ・パティシエとして, 夢を持つきっかけとなったことや, どのようにして夢を実現していったのかを知る。また, 各自の夢について話し合う。 |                                      |
|   |   | <b>Let's Communicate ③ レストランで注文しよう</b> (2)<br>レストランで料理を注文する際に使う基本表現を理解し慣れる。ウェイター[ウェイトレス]と客に分かれて対話練習を行う。  | ・インターネットで実際のメニューをダウンロードし, 交代で役割練習をする。                               |                                      |
| 12月   | <b>英語のしくみ ③</b> (2)<br>名詞に説明を追加するために, 現在分詞や過去分詞で始まる表現を名詞の前や後に置いて表す。 | ・名詞に分詞を使った表現が追加された文をグループで考え, 発表する。   |   |                                      |
| <b>【課題・提出物等】</b><br>次のテーマについての「スピーチ原稿」, または「英作文」を提出させる。<br>①相手との心地よい距離について (要約文)<br>②夢のロボット (ロボットにしてほしい仕事)<br>③将来の夢 (職業) について                         |   |  |   |                                      |
| <b>【第2学期の評価方法】</b><br>定期考査のほかに, 課題 (提出状況と内容), 授業への意欲, 授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。ディスカッションなどで積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や, 標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかとも評価の観点となる。 |   |  |   |                                      |

|  |  |   |  |                       |  |  |
|--|--|---|--|-----------------------|--|--|
| 第<br>3<br>学<br>期   | 1<br>月   | <b>Lesson 9 The Zero Emissions Project</b> (6)<br><題材> 山形県のある高校が挑戦した究極のエコカー作り。成功に至るまでの過程と、それを通して生徒たちが学んだことを考える。<br><機能・表現> 説明したり理由を述べたりする表現／考えや意図を伝える表現<br><言語材料> 助動詞+be+過去分詞                     | ・「究極のエコカー作り」の話を通して、身の回りのことで環境問題にどのように取り組んでいるか（または、取り組まなければならないか）グループで話し合う。 | 学<br>年<br>末<br>考<br>査 |  |  |
|  |  | <b>つづり字と発音 ①</b> (1)  | ・2つ続く母音字を読む。   |                       |  |  |
|  |  | <b>WORD POWER ③</b> (2)<br>世界の国々やその国の人や言語を表す英単語を覚える。a piece of や station と繋がる語句に慣れる。  | ・派生語のルールについて推測し、話し合う。  |                       |  |  |
|  | 2<br>月   | <b>How to Search the Internet for Information</b> (2)<br>校内での言語活動を活発にするため、ここでは情報通信ネットワークを活用して情報を得る場面で、それぞれの手順についての英語表現を知る。  | ・英語の情報検索ページやホームページの活用方法を話し合う。  |                       |  |  |
|  |  | <b>英語のしくみ ④</b> (2)<br>主語に説明が加わって長くなる文（前置詞、関係代名詞、分詞が加わった文）を理解する。  | ・主語の役割を確認し、文の内容を理解する。  |                       |  |  |
|  |  | <b>Reading 2 Why Don't You Study a Foreign Language?</b> (8)<br>世界には言語を複数使う国が多く、1つの言語しか使っていない日本のような国は少数派である。複数言語を学ぶことの利点について考える。<br><機能・表現> 未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用しながら聞いたり、読んだりする。<br><言語材料> 復習 | ・母国語以外の言語を学ぶ利点について意見を交換する。また、複数言語を学ぶことの利点について、簡易ディベートに挑戦してみる。              |                       |  |  |
|  | 3<br>月   | <b>FURTHER READING TOKISOBA——時そば</b> (6)<br>6課で触れた日本の伝統芸能である落語の「時そば」。場面や状況を思い浮かべながら、落語のおもしろさを味わう。<br><言語材料> 復習  | ・日本の伝統芸能の落語のおもしろさを英語で味わう。  |                       |  |  |
|  |  | <b>つづり字と発音 ②</b> (1)  | ・黙字を含んだ語を読む。   |                       |  |  |
|  | <b>【課題・提出物等】</b><br>次のテーマについての「スピーチ原稿」、または「英作文」を提出させる。<br>①身近で取り組んでいる環境問題<br>②複数言語を学ぶ利点（要約文）   |   |  |                       |  |  |
|  | <b>【第3学期の評価方法】</b><br>定期考査のほかに、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうか評価の観点となる。Readingの課では自分の感想を表現しようとする姿勢も評価する。 |   |  |                       |  |  |
| <b>【年間の学習状況の評価方法】</b><br>定期考査に加え、授業中の英語学習に対する関心・意欲・態度、英語を理解し表現しようとするコミュニケーションへの姿勢、課題や発表活動への取り組み、標準的な発音で英語を話そうとする努力などを、1, 2, 3学期を通して総合的に評価する。 |  |   |  |                       |  |  |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>確かな学力を身につけさせるための指導の観点</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声的な特徴に注意しながら英語を十分に聞かせて練習させることで、音声への認識を高めさせる。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</li> <li>・基本的な文法事項を確実に身につけさせるために、音声を通して繰り返し練習させる。</li> <li>・身近な単語を与え、英文を書いたり、英語で表現したりする基礎的な力を身につけさせる。また、まとまりのある文章を書かせる。</li> <li>・英語で発表する機会を多く与え、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲を育てるとともに、コミュニケーション能力を伸ばす。</li> </ul> |
| <p>授業を受けるに当たって生徒に守らせたい事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学習の基本的習慣をつける。</li> <li>・課題や提出物を提出する。</li> <li>・恥ずかしがらずに積極的に英語を発音する。</li> <li>・基本的な文法事項や基礎的な単語力をつけるための練習を、音声を通して継続的に行う。</li> <li>・自分の意見を積極的に述べるなど、コミュニケーションを図る努力をする。</li> </ul>   |

(2) 評価の観点、内容および評価方法

|                        | 評価の観点および内容   | 評価方法  |
|------------------------|--|---|
| <p>関心・意欲・態度</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語に興味・関心を持ち、積極的に授業に参加してコミュニケーションを図ろうと努力しているか。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加状況と意欲</li> <li>・課題等の提出状況とその内容</li> </ul>              |
| <p>外国語表現の能力</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見や事実を英語で表現したり説明したりしようと努力しているか。標準的な発音で英語を話そうと努力しているか。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチや英作文</li> <li>・授業中の発言や活動への取り組み</li> </ul>                 |
| <p>外国語理解の能力</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を注意して聞いたり読んだりして、相手の考えや文章の内容を理解しようと努力しているか。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容理解の程度</li> <li>・ディスカッションへの取り組み</li> <li>・要約文や感想文</li> </ul> |
| <p>言語や文化についての知識・理解</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活で多く使われる表現を習得しているか。</li> <li>・英文の内容を十分理解し、知識を広げようと努力しているか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチやディスカッション、ペアワークなどへの取り組み</li> <li>・英作文（要約文）の内容</li> </ul>  |